

# 事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会 平成20年6月13日(金)

研究課題	栽培条件の異なるブドウ「甲州」を用いたワインの個性化醸造技術の確立に関する研究	
研究期間	平成17年度～19年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.2
	2 目標の達成度	4.0
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.0
	4 今後の発展性	4.0
	5 総合評点	4.2
<p>本研究は、栽培条件、すなわち、適切な収穫時期、ボルドー液の散布方法、さらに炭酸ガスを酸化防止に用いた醸造方法等を検討することで甲州種独特の香りを持つ良質なワインを醸成できたことは高く評価できる。</p> <p>今後の課題として、圃場の違い(土壌、気候等)によるワインの品質への影響について解析を行う必要がある。</p>		